

科目名	情報基礎 1 Introduction to Information Technology 1	1年 前期 専門基礎必修 2単位
担当者名	渡辺 博芳 佐々木 茂	
授業目標	<p>大学における学習や生活のために十分な ICT 能力を習得することを目標とします。高等学校までに習得した情報活用の実践力、コンピュータの活用力、情報社会についての知識、コミュニケーション力を確実なものにすると共に、情報社会に参画する適切な態度を身につけます。</p> <p>また、これからの大学生活においてベースとなる友人関係を築くことも大切な目標です。</p>	
授業概要	<p>この授業は、帝京大学宇都宮キャンパスのコンピュータ教室(CL 教室)で実施します。この授業を修了すると、以下のようなことができるようになっているはずですが、また、そうなるように学習することを望みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本操作、ファイル管理、プリンタの利用ができる。 ・学習支援情報システムを活用して学習を進めることができる。 ・英字および日本語の入力において、キーボードを見ずにタイピングができる。 ・CL 教室のコンピュータを使って電子メールの送受信やウェブページ閲覧ができる。 ・ワープロソフト、表計算ソフトを利用することができる。 ・プレゼンテーションソフトを利用してプレゼンテーションができる。 ・文書の構造を理解し、アウトライン構造をもった文書を作成できる。 ・チェーンメール、ウイルスに適切に対処するとともに、ネットワーク利用時のエチケットを守り、著作権・肖像権などを尊重できる。 ・友人との協調学習において、友人を思いやり、協力して学習を進めることができる。 <p>各回の授業は、講義や説明、コンピュータを使った実習から構成されます。毎回の授業において提示される宿題や課題は、次の授業までにやっておくことが求められます。</p> <p>タッチタイピング(キーボードを見ずにキー入力すること)ができると、コンピュータ活用力が大幅に向上します。タッチタイピングは練習さえすれば、誰にでもできるようになりますので、まだの人は大学初年次に習得してしまいましょう。ただし、授業時間外にしっかり練習することが求められます。</p> <p>タッチタイピングをはじめとする習得すべき力は、最後の方の授業において実技試験により評価しますので、宿題や課題を含む日々の学習をしっかりと行ってください。</p>	
授業計画	<p>第1回 インTRODクシヨン (コンピュータ教室の概要、ID とパスワードの管理を主に学びます)</p> <p>第2回 学習支援情報システム (履修登録システムを使って履修登録を実施するとともに、コース管理システム WebCT の基本操作を学びます)</p> <p>第3回 タイピング練習方法とプレゼンテーションソフト (タッチタイピングを習得するための練習方法を学び、自己紹介プレゼンテーションの準備をします)</p> <p>第4回 プレゼンテーションと情報倫理(1) (前半は自己紹介プレゼンテーションをし、後半はeラーニングコンテンツで情報倫理を学びます)</p> <p>第5回 プレゼンテーションと情報倫理(2) (第4回と同様です。第4回とは発表者が異なります)</p> <p>第6回 電子メールと情報倫理 (前半は、電子メールの操作・マナーを学び、後半はeラーニングコンテンツによる情報倫理の学習をまとめます)</p> <p>第7回 知的所有権 (特に著作権について学び、学んだ内容をプレゼンテーションにまとめます)</p> <p>第8回 プレゼンテーションと文書作成 (前半は、著作権についてのプレゼンテーションを行い、後半はスタイルを使った文書の作成方法を学びます)</p> <p>第9回 問題解決演習(1) (問題解決の手順を復習し、チームで問題解決演習を行います)</p> <p>第10回 問題解決演習(2) (問題解決演習結果をレポートにまとめ、他のチームと相互評価します)</p> <p>第11回 表計算ソフトの活用 (表計算ソフトで、データを目的に応じてグラフや表で表す演習を行います)</p> <p>第12回 文書作成 (図やグラフを入れた文書、送付案内状などの簡単なビジネス文書の作成演習をします)</p> <p>第13回 習得試験 (タッチタイピング、情報倫理に関する知識、コンピュータ活用の実技について知識やスキルの習得試験を行います)</p> <p>第14回 問題解決試験 (与えられたテーマについて時間内に問題解決を行い、結果をレポートします)</p> <p>第15回 まとめ (情報基礎1で学んだことを振り返り、最終レポートをまとめます)</p>	
成績評価の方法、基準	<p>以下の条件を満たした学生を合格とします。</p> <p>(1)規定数以上の授業に出席すること、(2)全ての課題レポートを提出すること、(3)習得試験で合格点(60%)を獲得すること、(4)キーボードを見ずにタイピングができること、(5)プレゼンテーション発表を行うこと。</p> <p>合格基準を満たしたら、基本点 60 点を与えます。基本点に、課題レポートの得点、試験の得点の 60%を超えた分、学習態度による加点、グループ学習におけるボーナス点などを加点して、成績をつけます。</p>	
使用テキスト及び使用教材	教材は WebCT に掲載します。また、CL 教室にインストールされているソフトウェアを使用します。	
その他		